



日本の首相に関するコメント

2024-027-TH-UA

2024年1月、あるThreadsユーザーが日本語のニュース記事のスクリーンショットを含む投稿に返信しました。その記事には、自民党岸田派の所属議員が関与している不記載の政治資金収入についての、岸田文雄首相の声明が含まれています。この声明で岸田首相は、この金額は「ありのままであり、不正に操作されたものではない」旨を述べています。Threadsの投稿には、岸田首相の画像と脱税を批判するキャプションが含まれていました。先のユーザーも、日本語で、日本の立法機関に説明すべきであるとコメントしています。コメントには、脱税者とされた首相に対する「くたばれ」というフレーズや、メガネをかけている人を揶揄する言葉を使ったハッシュタグもいくつか含まれています。1月、岸田首相は、この収入過少申告疑惑について国会で[声明](#)を発表しました。その後、首相本人ではないものの、本件に関与した日本の議員数名が刑事告発されています。

このThreadsの投稿に対する先のユーザーの返信には、「いいね！」も返信もありませんでした。というのも、当該の返信は、[いじめや嫌がらせ](#)に関するコミュニティ規定に基づいて一度報告されています。本規定は、（公人を含め）誰に対しても「死を求める」内容の投稿を禁止するものです。人間の審査担当者により、当該の内容は死を求めることを禁止するMetaの[暴力と扇動](#)のポリシーに違反していると判断されました。暴力と扇動に関する審査チームへのMetaの内部ガイダンスには、「死」を煽る特定のフレーズが各国首脳のようなリスクの高い人物に向けられた場合、死を求める呼びかけとして解釈されると記載されています。Metaは、このユーザーのハッシュタグには死を求める呼びかけが含まれており、審査担当者はそれが岸田首相に向けられたものと解釈したのであろうと説明し、当該内容を削除しました。その後このユーザーはMetaに訴えたものの、2人目の審査担当者も当該の返信内容が違反であると判断しました。最終的に、このユーザーは、公人による違法行為の疑いに関する投稿をMetaが削除したことは言論の自由を妨害するものであるとし、委員会に上訴しました。委員会がこのケースを検討した結果、Metaは、当該の返信内容を削除するという当初の



決定が誤りであったと判断しました。 Metaは、この返信には誇張表現が含まれており、暴力と扇動に関するポリシーに違反するような脅迫には当たらないとして、削除された内容をThreadsに戻しました。

委員会は、Threadsで共有される政治的コンテンツに関するMetaのコンテンツ規制方針と実施策を検討するために、本件を取り上げました。 本件は、MetaがThreadsで政治的コンテンツを積極的に推奨しないという決定を下したという点において特に重要な意味を持っています。 本件は、委員会の戦略的優先事項である「選挙と市民参加の場」の範囲に含まれるものです。

委員会は、以下に関する一般の意見を求めています。

- 政治家に対するネット上での暴力の脅威や、政治家に対する批判表現の自由の制限に関する情報を含む、日本の社会政治的背景。
- 日本語や政治論において、どの程度の誇張的な暴力の脅威や呼びかけが一般的な範囲内であるか、また、そのような脅威は真の脅威とどの程度容易に区別できるか。
- Metaの「いじめと嫌がらせ」および「暴力と扇動」に関するポリシーは、各国首脳のようなリスクの高い人物を、大規模な真の暴力の脅威からどのように守るべきか。 誇張的な暴力の脅威や呼びかけを含めた政治的表現を尊重するために、Metaはどうすればよいか。
- ユーザーがフォローしていないページに対して、ThreadsやInstagramのニュースフィードで政治的コンテンツを推奨しないというMetaの選択は、情報へのアクセスや政治的言論にどのような影響を与えるか。

委員会は、決定の一環としてMetaに政策提言を出すことができます。 提言に拘束力はありませんが、Metaは60日以内にそれに応じなければなりません。 そのため、委員会は一般から本件に関連する提言を歓迎します。